



HSMニュース

RightShipインスペクションの船齢引き下げが大詰め！ 

皆さんご既承の通り、2025年7月1日から段階的に対象船齢が引き下げられており現在13歳以上のバルクキャリアが対象となっておりますが、この4月1日から12歳以上となり、そして更に7月1日からは11歳以上となってまいります。

分かっていた事とはいえ怒涛のスケジュールですね... 4月と7月で...

そして来年2027年1月1日からはとうとう10歳以上となってまいります。あつという間ですね。

ご存知の通り、対象年齢に達するとSafety Scoreが自動的に2/5にダウングレードしてしまいチャーターリングにおいて商売上大きな影響を及ぼすことになるため、多くの用船契約で取り決められている様に船主の責任でSafety Scoreを戻さないといけません。

船主(管理会社)としては、対応する事が非常に多くなり、更に関連するコストも多く発生する事になります。検査の準備や検査の対応、検査後の是正措置対応、そしてまた次回の検査準備、とライトシップに関する対応だけでかなりの労力や時間を費やすことになるので、対象となる予定の船がある場合は、実際の検査においてできるだけ長い期間のValidity(最長12ヶ月)を取得する為にも、出来るだけ前広に準備を進めていくのが望ましいと思います。

今後もライトシップに関する情報がありましたら本誌でも引き続き紹介していきたいと思っております。

消火操練トレーニングのサービス開始！ 

当社グループ会社の(株)HSMでは、昨年2025年8月に船上における消火操練についてのトレーニングサービスを開始いたしました。

近年PSC Inspectionにおいて「消火操練(Fire Drill)」の“実効性”を見られるようになってきており、チェックの中心が従来の記録(レコード)から実演に変わってきている傾向が強まっている様に見受けられます。

特にPCC(自動車船)については、EVが増えてきたこともあり、その構造的にもリスクが高いことからより厳しく見られる傾向にあります。

その様な背景から、当社では現在PCCも管理されている国内の大手管理会社様からPCCに関して、定期的に消火操練の船上トレーニングの依頼を頂戴し実施させて頂いております。

今後は、引き続きPCCにおける消火操練トレーニングの内容や効果の向上を目指して改善していくと共にPCC以外の船種や消火操練以外の操練についてもその可能性を模索しサービスの拡大も検討していきたいと考えております。



このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介していきます。

今回は前回に引き続き、くわ散歩のベースでもある赤穂・日生エリアのお店をご紹介します。少し足を伸ばして、弊社神戸事務所のある神戸でも一軒ご紹介します。

くわ散歩 第23回:肉汁と辛旨を楽しむ、赤穂と神戸の一日

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣、また出張先などのオススメのお店や、まだ知られていない穴場など、様々なスポットを紹介いたします。

今回はまず、赤穂の街から。身近なお店ながら、これまで紹介できていなかった一軒に立ち寄りつつ、その後は少し足を伸ばして、神戸でも一軒ご紹介します。

民宿・レストラン 初音(赤穂市)



山陽自動車道・赤穂ICを下りて1分ほど、交差点を日生とは反対側に曲がってすぐにある民宿・レストラン 初音です(兵庫県赤穂市新田599-1)。日生方面へ向かう際に、見かけたことがある方も多いかもかもしれません。上は民宿、下がレストランとなっており、地元の方にも親しまれているお店です。

この日は休日で、「なにか美味しいものが食べたい…食べたいな…」と思い、ふらっと一人でお邪魔しました。



こういう定食って、うれしくなりますよね。

メニューはかなり充実していて、レストラン系の定食から喫茶店メニューまで幅広い印象です。今回は、オススメの「特製黒毛和牛100%ハンバーグ」を注文。せっかくなのでハンバーグは2倍サイズ、念のため(?)唐揚げもトッピングしました(取材のためですよ!!)

ハンバーグは、箸を入れると肉汁がしっかり溢れ出てくるタイプで、思わず「おっ」となる仕上がり。しっかりとした肉感があり、噛むほどに旨味が出てきます。しっかりとした仕上がりで、お店らしい完成度もありつつ、どこか手作りの温かみも感じられる一皿です。



席数は多く、落ち着いた雰囲気店内です



見てください！この肉汁！

サウイ食堂 神戸三宮店



テンション爆上げな盛りです

今回は弊社神戸事務所のある、神戸・三宮です。

上司と「晩ご飯どうする？」という流れで、「ナッコプセ食べてみない？」と声をかけてもらいました。名前は聞いたことがあり、憧れはありつつも、普段地元では食べる機会のない料理。これは楽しみです！

この日伺ったのは「サウイ食堂」さん。JR神戸三宮駅から徒歩10分ほどの場所にあるお店です(兵庫県神戸市中央区加納町3-5-6)。

注文してほどなくすると運ばれてくるのですが、まずは見た目のインパクト！エビ、タコ、ホルモンがしっかり盛られていて、食欲をそそります。火を入れていくと全体がなじんできて、各食材に辛みと旨味がしっかり絡んでいく感じです。

見た目はしっかり辛そうですが、ただ辛いだけではなく、旨味が前に出てくるタイプで、これは箸がとまりません。あっという間に食べてしまい、結局もう一人前追加してしまいました…



写真でも美味しさが伝わりますね…



途中店員さんが手際よく混ぜてくれます。目でも楽しめます。



「サービスです」と、目玉焼きご飯をくれたのですが…これと一緒に食べるのが最高に美味しかったです！



辛さはこの茶色系ドリンクで流します。至福のひとつき。

というわけで、今回も前回に引き続き、身近なお店をご紹介します。赤穂と神戸、それぞれでしっかり満足できる料理で、お腹もパンパンです。

が、しかし…書きながら写真を見ていたら、お腹が空いてきました…それでは、次回の「くわ散歩」でまたお会いしましょう！

しっかり食べたので、今日はもう何も入りません(そういう日もたまにはあります)





ピックアップ!

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させていただきます。
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思います!

こんにちは！ 今日もいつも通り締め切り間際になってもまだ何も手をつけていない状態に呆然とし、「酒も飲まずにやっつけられるか」とビールを一口、そして二口三口、その後ハイボールへ移行。。

「なんてやる気のないヤツなんだ」と客観的に自分をみて反省。

ということで今日は「モチベーション」や「やる気」「動機」についての記事をピックアップしてみたいと思います。

「モチベーションの上げ方」

私も「何か仕事が進まないな～、何だかやる気が出ないな～」なんて時もあり、周りでも「モチベーションが上がらないな～」「モチベーションが大事だよな～」何て声が聞こえてくこともあります。

「いいからやれよ」「しょうもないこと言っていないでさっさと手動かせよ(口悪っ)、とか心のなかで言っていますが(もちろん自分自身に対しても)...

そんな「モチベーション」について記載されていた記事を抜粋、要約して紹介したいと思います。

モチベーションって何？

「モチベーション」についてちょっと真面目に考えてみました。

実体がないので、そこそこ捉えにくい存在だなあと思いつつ、データ上分かっていることは「無能なヤツほど『モチベーション』を口にする」です。

もう少し言うと「行動しないヤツほど『モチベーションはどこから湧いてきますか?』という質問をする」です。

逆に、優秀なクリエイターや経営者でそんな風に『モチベーション』を口にしてている人は、ほとんど見かけません。

次に、「感情」と「行動」の“登場順”を整理したいと思います。

プレゼントを貰うと「嬉しい」という感情が生まれ、殴られると「ムカつく」という感情が生まれ、テスト勉強を頑張って98点をとると、「次は100点を取るぞ」という感情が生まれるように、「感情」の前には、その感情を生むキッカケとなる「行動」が必ずあります。必ず、身体(行動)が先で、脳(感情)が後です。

なので、「どうすればモチベーションが湧いてくるのですか?」という質問は、そもそも前提(前後関係)が間違っていて、「どうすれば『美味しい』と思えますか?」と言っているようなもの。

「いや、(料理)食べよ」って話です。

とりあえず料理を食べてみないことには、「マズイ」という感情も、「美味しい」という感情も生まれません。

「モチベーションはどこから…」と頭を抱えるヤツは、「どうしたら、『美味しい』と思えるのかなあ～」と言いながら、100年間何も食わずに悩み続けるヤツと同じです。#お前ずっと何やってんの

初めから「モチベーション」が備わっている人は少ない。それよりも、動きながら「いけるかもしれない」と思ったものに対して自然と「モチベーション」が湧いてくる場合が多いのです。

それはつまり、動かない人に、モチベーションが宿ることは永遠にないということ。

『いけるかも』という期待を感じた瞬間に、ドーパミンが出てモチベーションになるんですね。で、この『期待』って、ちっちゃな成功のあとに出てくる。ってことはドーパミンって、成功の副作用なんですよ。

なら、このちっちゃな成功をたくさん積んでいけば、どんどんモチベーションが上がって頑張れる。

「モチベーションはどこからくるのか??」という質問には、「結果から来る」というのが僕の答えです。

モチベーションが湧いて、行動を起こしているわけではなくて、行動をした結果、喜んでもらえたり、褒めてもらえたり、女の子にモテたりなんかして、なんかちょっといい結果が出て、「もっと喜んでもらいたいな」「もっと褒めてもらいたいな」という気持ちが湧いてきて、その気持ちの名前をモチベーションと呼ぶ、と。

つまりモチベーションというのは、「行動の先にあるものであって、厳密にいうと『二歩目のキッカケ』であって、『一歩目のキッカケ』ではない」という話です。

次ページへ続く

「じゃあ、一步目のキッカケは何なんだ？」という話になるんだけど、これはもう、「なりゆき」であり、そんな大した動機じゃないことが殆どです。

「なんか、おもしろそう」とか「他の仕事よりは良さそう」とか「モテそうだから」とか「喧嘩に明け暮れてて、ちょっと試しにブレイキングダウンに出てみた」とか、「バイトで厨房を任された」とか。

みんな、そんなところから始まって、結果を出していくうちに、モチベーションが湧いてきて、道を極め始める。

なので、「モチベーションが湧かないから、やらない」「やる気が起きないから、やらない」というのは、そもそもの前提が間違っていると思うんです。やらないうちにモチベーションなんて湧かないし、やらないうちに、やる気なんて起きない。

そこそこ安い理由や安いノリで始めちゃって、走っているうちに、「やる気」や「責任」がグラデーションで発生してしまい、気がついた頃には、「今の行動量」と「始めた動機」がまるで見合っていない…というのが実際のところ。

「世界チャンピオンになった人間の『始める動機』が世界で一番大きい」なんてことはない。

ちなみに、以下はボクシング世界チャンピオン井上尚弥選手のインタビューです↓

(井上)

父も選手として練習をしていて、そのジムと一緒に練習をし始めたのがきっかけです。

始めた頃は“まったく楽しくなかった”んですけど、間近で父のがんばる姿を見せられていたので、自分もがんばろうという気持ちで続けていました。そして小6のときに初めて試合に出場し勝つ喜びを味わったり、試合で生まれた課題を練習で取り組み次の試合に活かしていく中で、“段々とハマっていきました”。

始まりなんて、まあ、大体こんなもんです。#段々とハマってくる

キチンと調べてみないと分からないですが、マンモスを狩りに行っていた時代に『モチベーション』という概念は今ほどは無いと思います。

ゴタゴタ考える前に問答無用でやらなきゃいけない環境を作るのが一番健康的だと思います。

ということで、如何でしたでしょうか？

私は結構腑に落ちた感じでした。何となく思っていたことが言語化された感じでスッキリしました。

自分自身も言い訳に使っていたことを何となく分かっていたけど改めてズバツと言われた感じでもありますね。

まあ結局、「いいからさっさとやれよ」ってことですかね。

確かに、始めるまでごちゃごちゃ考えて悩んでいたけど始めてしまえば意外とどんどん進んでいくし、進めていく中で理解を深めていったり新たに閃いてきたりして、だんだん楽しくなってきたりやる気にもなってきたりするものですよ。

やってみないと分からないですし、やってみて初めてわかることがありますからね。

そして、そこから次の行動に繋がるモチベーションや動機、やる気というものが出てくるということですね。

結局、行動することが「モチベーションを上げる」一番の方法ということですね。

まあ、「ごたくはいいからさっさとやれよ、アホか」(口悪っ)、ってことですね。

最後に、今回の話を通してある言葉を思い出しました。

「この道を行けばどうなるものか。危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ。行けばわかるさ。」

(アントニオ猪木)

今さら聞けない

海運基礎知識 「航路定限・除外水域」

今回は、「航路定限と除外水域」について取り上げてみたいと思います。

米、イスラエルによるイラン攻撃から始まり、イランによる反撃など、ホルムズ海峡周辺は緊迫の状況が続いている中で「除外水域」が話題にあがることも多く、実務的にも影響が出ていることからこの話題を取り上げたいと思います。

「航路定限」って何？

- ・保険契約上、船舶が航行出来る水域を「航路定限」といいます。
- ・船舶普通期間保険において外航船については「世界水域 (World-Wide Trading Warranties)」を航路定限として設定することが一般的です。これは海外で使用されているInstitute Warrantiesとほぼ同内容となっています。
- ・航行出来る海域が定められているので、その海域以外を無断で航行すると保険対象外となってしまうので、保険会社への事前連絡は必須です。但し、切迫した危険を避ける為、もしくは人命救助の場合はこの限りではありません。

「除外水域」って何？

- ・通常、普通期間保険では補償されない「戦争」「ストライキ」「テロリスト」などによって生じた損害を補償する戦争保険を付与していますが、特に戦争危険度の高い海域については「除外水域」として、航路定限から除外されています。
- ・その様な除外水域を航行する際には危険度に応じた割増保険料を支払う必要があります。
- ・この除外水域の範囲については、英国の保険引き受け業者で構成する戦争委員会連合 (Joint War Committee: JWC) が定める「Listed Area」が基になります。

実務上の対応はどうするの？

- ・先ず、航路定限外・除外水域を航行する可能性がある場合は、必ず事前に保険会社へ連絡しなくてはなりません。
- ・航行が承諾されないこともあれば割増保険料の支払いによって認められる場合もあり、また、海域によっては通過だけなら割増保険料無しで認められる場合もあるなど色々なケースがあるので、必ず事前に保険会社へ連絡して確認する必要があります。
- ・除外水域の範囲については、紛争地域の戦争危険度に応じて定期的に改訂されますので、保険会社からの案内を注視しておきます。
- ・実際に除外水域を航行する際には、保険会社へ事前にスケジュールを連絡するとともに、実際に同水域を航行した場合は、入域日時及び出域日時も報告する必要があります。
- ・通常船主と用船者間において、船舶の航行区域や除外水域についての取り扱いは用船契約で取り決められており、割増保険料などの追加費用については用船者負担とすることが一般的です。

最近の中東情勢に伴う変化は？

- ・最近の中東情勢悪化を受けて、除外水域が拡大され、割増保険料率も大幅に引き上げられることになりました。
- ・カタール、オマーン、クウェート、バーレーン、ジブチが新たに追加され、指定済みであったペルシャ湾、オマーン湾、インド洋、アデン湾、紅海南部はエリアが一部修正されて広域になりました。
- ・また、保険料率に関しては、ヘルドカバード (随時設定) 方式に変更となりました。この方式の場合は除外水域への航行のたびに都度協議して料率が決定されます。通常は一定の料率が設定されていますが、現在の様な航行リスクが極めて高く、また事態の沈静化が見えない中においては、当面高い料率となることが想定され、特にペルシャ湾などホルムズ海峡周辺海域では非常に高い料率が付くと予想されています。

以上、非常に簡単ではありましたが、「航路定限と除外水域」について取り上げました。

現在も続く中東の不安定な情勢において、更なる除外水域の拡大や料率の引き上げ等の可能性もあり、実務上も色々確認や対応が必要となってくると思いますので、引き続き状況を注視していく必要があります。